

# 地域との関係から考える 生物多様性への第一歩

～自然共生サイトを通じた企業と地域の新しい接点～

自然共生サイトへの取り組みは、取引先との関係や社内意識、地域からの評価など、企業活動のさまざまな場面に変化として現れ始めています。

本セミナーでは、そうした事例をもとに、自然共生サイトと企業価値の関係を読み解きます。

2026年  
**3月4日(水)**  
14:30～17:00

主催：大阪府、おおさかATCグリーンエコプラザ実行委員会  
(大阪市、アジア太平洋トレードセンター(株)、日本経済新聞社)

**会場** おおさかATCグリーンエコプラザ  
セミナールーム およびオンライン (Zoom)

**定員** 会場：50名 オンライン：100名  
(要申込)

**参加費** 無料

こんな人におすすめです

生物多様性や環境課題を、自社として  
どう関わるべきか検討している方

地域や行政と連携した環境への取り組みに  
関心のある方

自然共生サイトに関心はあるが、具体的に  
何から始めればよいか悩んでいる方

## 本セミナーで得られること

- ・自然共生サイトの制度と背景を理解し、自社にとっての関わり方の方向性が見える
- ・取り組みが社内外の評価や地域との関係にどのような変化をもたらすのかを学べる
- ・企業事例やパネルディスカッションを通じて、自社での実践に活かせるヒントが得られる

**導入パート① 自然共生サイトとは何かー生物多様性をめぐる動きと、大阪府が企業に期待していること**

講師：織田 智也氏 (大阪府環境農林水産部みどり推進室みどり企画課 副主査)

**導入パート② 自然共生サイトを、企業価値の文脈で捉え直す**

講師：田辺 邦彦氏 (EMIELD株式会社 執行役員)

**企業事例 企業はなぜ、地域とともに生物多様性に取り組む必要があるのかーエスベック神戸R&Dセンター「バンビの里」の自然共生サイト実践からー**

講師：土田 真奈見氏 (エスベック株式会社 神戸R&Dセンター サステナビリティ推進本部 環境管理部長)

**企業事例 地域の里山と商いをつなぐ、生物多様性への第一歩**

ー津村屋「銀寄プロジェクト」が生まれた背景と、その後ー

講師：角村 茂氏 (御菓子司津村屋)

**パネルディスカッション テーマ：自然共生サイトが導く地域共生の場づくり**

ファシリテーター：花田 真理子氏 (地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 客員研究員)

エスベック株式会社/御菓子司津村屋/公益財団法人大阪みどりのトラスト協会/EMIELD株式会社

※終了後名刺交換会

ホームページからお申し込みください

<http://www.ecoplaza.gr.jp/seminar>の対象セミナーページから  
必要事項をご入力の上、申し込みください。



※お申し込みについて…こちらのセミナーにお申し込みいただくには会員登録が必要です。  
一度会員登録していただきますと、会員限定セミナー申込時の情報入力の手間が省けます。



**おおさかATCグリーンエコプラザ**

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ITM棟11階

最寄駅：ニュートラム

トレードセンター前駅直結

<https://www.ecoplaza.gr.jp>

ATCグリーンエコプラザ

検索